

鳴海ヶ丘新聞

第3号

2014年12月9日



11月24日、日本特殊陶業市民会館・フオレストホールにて幼稚園まつりが開催されました。当日、集合した子どもたち、少し緊張した様子の子もいましたが、先生やお友だちといっしょに心をひとつにし、こ



れまでの練習の成果を思う存分発揮することができました。歌、ダンス、器楽演奏に一生懸命に取り組み子どもたちの顔はみんなキラキラ輝いていましたね。



組む子どもたちの顔はみんなキラキラ輝いていましたね。

幼稚園まつり開催!

歌って踊って奏でた平和の音色



歌って踊って奏でた秋の一日。ご家族でお楽しみいただけただけではないでしょうか。

栄光学園年長児、役員のお母さま方が共演した「希望の歌」交響曲第九番。最後には、会場もひとつになり、みんなの歌声が平和の音色となりホールに響き渡りました。教職員出演の演目では、先生たちの華麗なパフォーマンスで日本の四季を表現し、会場がとて盛り上がりました!

み〜つけた!

なるなる探検隊

にりとウササ?子で塊々集が
畑日れ。ウササ?子で塊々集が
今入とて、かげク土味リイモ
なる。にこうしてすしにな興わ
る汁のなそるまかんき「ま丸
なし豚とんこりをさ大?の、て
きまるのみギとあ首築、は塊とな
るで収穫で、た。と?」都とれ、見
あで収穫のた。と?」都とれ、見
のきなおいし穫つ管てだちよき
初めつみいす穫つ管てだちよき
12月も野菜の表情をモットイ
子は野っの表モットイも掘がのま集
とをま集ではのどのとび子した



青2組

展覧会の絵

幼稚園まつりの器楽で「展覧会の絵」を演奏した青2組では、元となった絵を見て、イメージを膨らませました。「鼓をつけたひよこの踊り」はイメージと違つたように驚いていました。「キエフの大門」と「バーバヤガーの小屋」は「かっこいい!」と大盛り上がりでした。バーバヤガーの小屋はロシアの民話で絵本もあり、読み聞かせをしました。その後、自分の好きな曲の絵を描きました。演奏でも曲のイメージが深まり、さらに気持ちを込めて行うことができました。



赤2組

あやとり



毛糸などの紐一本で遊べるあやとりをクラスで初めて紹介したのは1学期です。知らない子が殆どで皆に興味を示していました。紐一本で遊べますが、子どもたちには難しく、初めのうちは苦戦していました。2学期に入ってから、様々な技にも挑戦し、あやとり名人を目指しています。川・ゴム・箒・富士山など、少しずつ難しい技にもチャレンジしています。2学期までは、一人あやとりですが、3学期には、二人あやとりにも挑戦してみます。



赤3組

おぼろ餅

赤3組では、秋田県の伝統的なお祭り「なまはげ」を取り上げ、写真などを見ながら、どのようなお祭りなのかを学びました。「おにだ!」「こわいよお」とおびえる様子だった子どもたち。「包丁を持ってる!」と口々に言っていました。お酒をあげると去っていくと伝えると、「なんだ。よっぱらいじゃん!」と笑う子どももいました。みんな、なまはげのお面に色を塗り、なまはげになりきって「泣く子はいねえか!」と叫び、お祭りごっこをして楽しみました。



黄4組

竹ぼっくり



初めて竹ぼっくりを見た時は、「何これ?」「どうやってあそぶの?」と興味津々の黄4組の子どもたち。実際に乗って遊んでみると上手く足が乗らず転んでしまったり、上に乗れても前に進めなかつたり...。少し難しかったようですが、決してあきらめず取り組むことで、「できた!」「見て!」「歩いて!」とうれしそうに話してくれました。また、クラスみんなで遊んだ時は、競争をしてみたいです。



HELLO 若草会

「歴代会長に聞く」

会話力を磨く

平成17年度若草会会長の竹内真由美さんにお話を伺いました。竹内さんは、任期終了後、食育サークルを立ち上げ、日本の良き伝統や文化を食を通して伝承していく活動を続けていらつしやいます。旬の食材を使った行事食を手作りする事によって、季節を体感し、その行事に込められた意味を受け継ぐうちに、自然と食卓での会話も増えたようです。そのおかげで、高校生になつた息子さんは今でも学校であつた出来事や自分の想いなど、何でもよく話してくれたいいいます。「自分の好きな事をやって欲しい。そして、自分に誇りを持てる人生を歩んで欲しい。」と小さな頃から伝えてきた為、すでに自分の進みたい方向性を決めて勉強されており、その夢をかなえるにはどうしたらいいのかと、よく家族で話すそうです。親の話は聞いてもらうには、まず子どもとの話を聞いてあげることが大事。ゲームやスポーツの話など、たとえ、自分には興味のない話題だとしても熱心に子どもの話に耳を傾ける。「よしよし!」と言え、それ以上何も言えなくなつてしまつたので、相手の意見を引き出すように会話のキャッチボールを続ける事が、会話力の鍵だと教えていただきました。会話力を磨く事で子どもの気持ちを知り、悩んでいる事に気付いてあげられる。そして、家族で話し合う事でより良い答えを見つけていく。そんな親子関係を築いていきたいと思つきました。

若草会会長 清水鮎美